

プレゼントが当たる
読者アンケート付き!

TAKE
FREE

Asakura City Promotion Magazine

コトネアサクラ

vol.05 2026.2



人も自然も
すぐそばに。

秋月で暮らす。

- ① 移住受入に積極的に取り組む
地元と移住者が混ざり合う “プロジェクト秋月”
- ② 川！山！自然遊びの中で子が育つ
子どもも親も大人も育ち合う “保育園かてて”

WE ♥ ASAKURA

世界一の乾杯リレーでギネス世界記録® 達成
福岡市南区高宮 ゴハンのおみせ ten、
朝倉の好きなところ フォトコンテスト

(株)宝島社『田舎暮らしの本』

住みたい田舎ベストランキング (2026年版)
2年連続! 北部九州エリア 総合部門 第3位

01

プロジェクト秋月

【代表 田尻雄輝さん（左から1人目）】

Profile

古処山の麓、かつて城下町として栄えた秋月。歴史が息づくこのまちで、いま新しい動きが始まっています。人口減少と空き家の増加——。全国で共通する課題に、地元住民と移住者、そしてこれから移住したい人が一緒になって取り組む。それが、2024年から朝倉市「移住受入モデル地域」としても活動を本格化させた「プロジェクト秋月」です。空き家の実態を調べ、まちの魅力を見つめ直し、次の担い手へバトンを渡す仕組みをつくる。「秋月に暮らす未来」を一つ一つ丁寧に形にしていくなメンバーたちの思いを聞きました。

地元と移住者が混ざり合っ

空き家と人をつなぐ “移住受入モデル地域”

- 秋月の未来を思う気持ちから、この活動は始まりました

私たちは「プロジェクト秋月」として、秋月・上秋月・安川の3地区で、空き家の調査と移住受け入れの仕組みづくりに取り組んでいます。活動の根っこにあるのは、ただ一つの思い——「秋月に人を呼び戻したい。まちを未来につなぎたい。」という思いです。

人口が減れば、空き家は増え、いずれ地域の行事やコミュニティ活動も続けられなくなっていくます。秋月の伝統である春祭りも、観月会も、光月流太鼓も、林流抱え大筒も、秋月鎧揃えも——。地域の清掃だって、誰かが担わなければ続きません。コロナ禍をきっかけに、地域の行事やサークル活動に人が集まらなくなりました。

「このままでは、まちそのものが消えてしまうかもしれない」そんな危機感が、私たちを動かししました。人口を増やすと言っても、やっぱり子どもを増やしたいという思いで、秋月小学校区の3地区で取り組むようになりました。

- 空き家の数だけ、持ち主の思いがある

秋月への移住を希望する人はたくさんいるのに、決まって聞こえてきたのは「物件がない」という声です。

でも実際は、空き家はあります。でも「情報がない」、相談する「窓口がない」。そこで私たちは、3地区の空き家を調査し、データベースにまとめました。そして、「移住したい人」と「空き家をどうにかしたい人」をつなげる窓口として、ウェブサイトを整理し、秋月・上秋月を中心に朝倉市の移住受入モデル地域としての活動も進めています。ただ、空き家は「物件」であると同時に「思い出の詰まった家」で



「思いを大切にしてくれる人に渡したい」そうした気持ちを丁寧に聞き、尊重することを何より大切にしています。

- 地元のひとと、新しく来た人。その混ざり合いが力になる

「プロジェクト秋月」の面白いところは、秋月でずっと暮らしてきた人、外から移住してきた人、移住を検討している人が、混ざり合っているところ。新しいことをやりたい」という移住者と、「いきなり変えられても……」と戸惑う地元の人たちとのズレは、全国でよくある話だと思います。最初のころは確かに戸惑いもありましたが、今では、お互いの価値観を知り、補い合い、尊重し合えるようになってきました。

そして最近、移住者も確実に増え始めています。「保育園がてて」の誕生も大きなきっかけでしたね。移住してきたグループの中で、仕事や子育てで、互いに困りごとをシェアして助け合うような、横つながりが生まれています。

- 自然との共存ができる秋月の暮らし

地元で長く暮らしている立場から正直に言うと、秋月は不便です。大きな病院やスーパーは近くにないし、車がなければ生活は難しい。これは「魅力」と胸を張って言えるものではありません。でも、だからこそ生まれるものがあります。

子どもが歩き回るのにはとても良い環境だと思います。顔見知りが多くて、誰かが温かく見守ってくれる、都会では得られないゆったりとした親密さがあります。山と川がすぐそばにあって、「昔の都会」がそのまま残っている都市計画面での面白さもあります。そして、脈々と続いてきた多くの祭りがあることも。人も自然もすぐそばにある土



Photo
 ①グリアーさんの建築設計事務所「アキアーキテクト」で話し合うメンバーたち。地元で長く暮らしている三隅さんは「最近移住したグリアーさんと栗林さんの存在が特に大きい」と話します。②③地域活性化を目指して夏にそばを植え、冬にそば打ち体験を行いました。そば打ち体験には地域内外から約100人の参加がありました。④空き家のワークショップも定期的で開催しています。

Member

- ① 地元の建築士 田尻雄輝さん
 - ② 2021年移住 建築家 グリアーはなさん
 - ③ 2021年移住 不動産屋 栗林直人さん
 - ④ 地元のJA職員 小幡金弘さん
 - ⑤ 地元の土木業者 泉 吉政さん
 - ⑥ 地元の元コミュニティセンター長 三浦 淳さん
 - ⑦ 地元コミュニティ協議会会長 三隅浩一さん
- ※他、倉地隆治さん、池田朱希さん



地でありますが、空港から40分という好アクセスなところも、移住を検討する人にとっては入りやすい田舎なのではと思います。

外から来た人ほど、この土地の価値に驚きますね。長く地元に住んでいる人にとっては当たり前の風景も、移住した人にとっては新鮮で、逆に魅力を教えてもらっています。

-今は、みんなで「地域の教科書」をつくっています

これからは、女性がより自由に地域に関われる環境をひらいていきたいと考えています。同時に、性別やライフステージにかかわらず、多様な視点が尊重されるまちを目指しています。自分自身の経験もひとつの視点として、「子どもにとってやさしいまち」という価値を社会に広げていきたいです。

ずっとここにいる人、移住してきた人、これから移住したい人——、みんなの意見を聞きながら、今は「地域の教科書」をつくっています。区費や地域での清掃、消防団などの活動を面倒だと感じる人もいますが、単に知らないだけという人も多いと思います。移住しても誰も教えてくれない・知らないから、やがてズレが生まれる。私たちがその架け橋になれば、よそ者もよそ者じゃなく振る舞えるようなコミュニケーションが取れたら良いと思います。

-ぜひ一度、秋月に来てください

お祭りでも、ワークショップでも、どんなかたちでも良いので、まずは一度秋月を訪れてみてください。朝倉市にはお試し居住もあります。気になることがあれば、遠慮なく聞いてください。秋月に興味を持ってくれたその気持ちが、私たちにとって何よりの力になります。

プロジェクト秋月

projectakizuki@gmail.com



地元と移住者が混ざり合っつなぐ 地域活性化プロジェクト

「移住したい」と「空き家をどうにかしたい」をつなげ、秋月小学校区内への移住を推進するプロジェクト。地元・秋月のメンバーで、空き家のデータベースを作りながら、お試し居住で訪れる移住検討者や、民泊の宿泊者で移住に興味がある人たちなどの窓口として、まちの魅力を紹介したり、空き家の情報を提供したりする地域のコンシェルジュとして機能しています。朝倉市移住受入モデル地域支援事業認定団体。



秋月の好きなとこ

♡ 古処山 by グリアーはなさん



事務所の窓からは古処山も一望でき、その雄大さに毎回感動します。

♡ 秋月八幡宮 by 栗林直人さん



秋月の城下町に佇む古い神社です。秋月の静かな雰囲気とあいまって、巨木存在感が印象的です。

♡ 月の峠 by 三隅浩一さん



番外い揚げたてカレーパンが名物。天然酵母の優しい味がお客さんを笑顔にする店です。

♡ 垂裕神社 by 三浦 淳さん



秋月の静けさに寄り添うような神社。紅葉と黒門が心をほくす場所です。

♡ フルーツ狩り by 小幡金弘さん



地区には梨や柿、ブドウの観光農園があります。JAに動いているという理由もありますが、本当に美味しいです！

♡ 腹切岩 by 泉 吉政さん



豊臣秀吉の九州征伐の時、秋月藩士・恵利内蔵助が主君を守るため自刃した伝承を残す巨岩。地元できれいに清掃しています。

まとめ

- 空き家問題や移住受入に積極的に取り組む“モデル地域”
- 地元と移住者、さらには移住を検討している人が混ざり合う
- 歴史が深く、人も自然もすぐそばにある秋月



02

大崎 愛 さん (中列・右から1人目)
(熊本県→小郡市→朝倉市)

Profile

朝の澄んだ空気の中、「今日はどこ行く?」と子どもたちが顔を見合わせる。川へ、山へ、城下町へ——、2025年4月に開園した秋月にある保育園「かてて」では、毎日が小さな冒険の連続です。精神科看護師として働きながら「いつか保育園をつくりたい」と願いつけてきた大崎愛さん。その思いは、秋月の自然豊かな環境と人の温かさに後押しされて、ついにかたちになりました。自身も3人の子を育てる大崎さんが秋月を選んだ理由や、子どもたちと向き合う日々のこと。そして、「かてて」という園に込めた願いについてお話を伺いました。



「ここだ!」と思えた場所で

子どもも親も大人たちもともに育ち合う自然保育

- 「保育園をつくりたい」という気持ちは15年前から

私は南阿蘇の出身で、ずっと精神科の看護師をしてきました。その中で、現代のいろんな障壁にぶつかって、しんどい思いをしている人をたくさん見てきて。「小さいうちに何でも受け入れられる柔軟性を育んだら、もっと楽に生きられるんじゃないか」と、ずっと感じていたんです。

結婚して福岡に住むようになって、3人の子の育児が始まった頃、外遊び中心で「子どものやりたい」をすごく丁寧に受け止める保育園に基山で出会いました。そこが本当に衝撃で。子どもが毎日、その日を楽しみに自然と目を覚ますし、その日あったことをとても楽しそうに話してくれるんですよ。でも、2年前に閉園してしまって。だったら、自分が理想とする保育園を自分でつくろうと思いました。

- 最後の悩み「場所がない」を解いてくれたのが秋月でした

私がこの地域にある春日助産院にすごくお世話になっていて、産後もずっと寄り添ってくれる場所なんです。そこで「いつか保育園したいよね」って話す仲間もいました。でも、最後まで残った課題は「場所」。場所が見つからなかったんです。そんな時に、めぐりあわせて、旧秋月保育所である今の場所と出会いました。

水が豊かで、山が近くて、季節がはっきりしていて、人の温かさを感じられる。見た瞬間に「ここだ!」って思いましたね。

2025年4月に「かてて」を開園して、その夏に秋月へ移住しました。園を始めると決めた時から、いずれは住まいも移りたいと家族会議も重ねて、子どもたちの「前の友だちとも会いたい」という希望も全部叶えるかたちで進めました。夫も転職せず、仕事を続けています。

- 「今日はどこ行く?」——子どもたちの声から始まる一日

「かてて」は自然保育が中心です。毎朝「今日はどこ行く?」と、行き先を子どもたち自身で決めてもらいます。野鳥川、古処山、秋月城跡……。同じ道でも季節や気分で遊び方が変わります。歩いているだけで、どんどん発見していくんです。子どもって本当にすごいですよ。

私は、「できる・できない」じゃなくて、「どうしたらできるかな?」って自分で考える姿を大事にしたいと思っています。子どもを一人の人間として尊重して、関わるのがすごく大切だと思っています。

- 食べることは生きること。一日のうちの一食を丁寧に

食にもこだわりがあって、できるだけ有機・減農薬のものを選んでます。味噌やしょうゆなど、日本人が昔から食べてきたものを大切にしています。一日のうちの一食は園で食べるわけですから、丁寧に。

月に一回「料理の日」をしていて、「何つくる?」から子どもと一緒に決めます。包丁を使う場面もありますが、自分が食べるものって、子どもは想像以上に興味を持つんですよ。「あれを入れたらどうなる?」って、子どもの発想を見ているのが面白いんです。この夏、トマトやキュウリ、ピーマンが苦手だった子が、自分で育てたら食べられるようになったんです。でも無理に食べさせることはしません。「今日は食べないって決めたんだね」ってまず気持ちを受け止める。その上で興味が生まれるのを待つ。それでいいんです。

今は園に11人の子が通ってくれています。朝倉はもちろん、筑前町や小郡、日田からも来てくれています。今の年長さん4人が、初めての卒園児で、どんなふうに移り出そうか話し合っているところで。それぞれ違う小学校へ上がるからこそ「巣立っても戻ってこれ



Photo

①夏は、子どもたちが行き先を「川!!」と決めれば、毎日のように川に遊びに行きます。野鳥川のほか、小石原川の上流域へ行くことも。大崎さんは「水は子どもたちにとって特別で、秋月は全身を育ててくれる場所」だと話します。②看護師時代の愛さん。夫の拓巳さんも医療職で、当時知り合いました。③かてでの親子会。保護者の温かい協力もあって、園も盛り上がっています。移住してきた家族の中で、互いに困りごとをシェアして助け合うような、横のつながりが生まれています。④「はぐくむ市」や助産院のマルシェなどに積極的に出展し、かてでの食の取り組みを発信しています。

る場所」にしたいと思っています。

-人・もの・ことを、子どもの中にも園にも“かてていく”-

私自身、移住して本当に驚いたのが、地域の人の温かさ。「保育園があるの？」って皆さんが声をかけてくれたり、野菜を分けてくれたり、使わない食器を持ってきてくれたり——。自分がやりたかったことが、おかげですごくスピードで叶っていきます。息子たちが休みの日に杉の馬場を走っていても、誰かしらが見守ってくれます。前の環境も良かったけれど、ここまでの温度はなかったかもしれません。今後は、赤ちゃん食堂や惣菜づくりの事業も園に“かてていきたい”と思っています。私自身、1人目の育児に力が入りすぎて、しんどくて。2人目、3人目でやっと「いろいろあっていい」と感じられて、楽になりました。それを今のお父さん・お母さんたちに届けたいんです。

オーガニック給食も知ってほしくて、「はぐくむ市」というマルシェも始めています。子育てをしている人にも、していない人にも、かてでの取り組みが広がってほしいです。

-秋月って、毎日“いちいち感動する”まちなんです

朝倉、そして秋月は本当にいいところ。一日の移ろい、四季の移ろい、子どもたちと歩く道も、毎日が感動の連続です。長く秋月に住んでいる人でも、先日、朝霧にもいちいち感動して——、いくつになっても感性が刺激される魅力的なまちなんだと思います。

かててを「令和の時代に必要なが身に付く最先端の保育園」と言ってくれるお母さんもいます。ぜひ、違いを見に来てほしいです。「子どもの育ちを一緒に考えられる環境」だと思います。

保育園 かてて



LINE

Instagram



◎ 朝倉市秋月 275-4 (旧秋月保育所)

◎ 月曜～金曜 8:30～16:30

◎ 満1歳～5歳



自然の中で子どもは育つ 感じて・考えて・生きる力を育む

秋月の豊かな自然の中で、子どもたちが「そのままでの自分」で過ごし、のびのびと育つことを大切にしている保育園。川や山、城下町の道などがそのまま学びのフィールドになります。食育にも力を入れており、食べることの楽しさや興味を育てています。

「かてて」は、福岡・熊本などで「仲間に入れて」「遊びに加えて」という意味を持つ方言。日々の体験や人・もの・ことを、子どもたちの心に“かてていく”、園の事業にも“かてていく”という思いが込められています。地域の方々の見守りと応援に支えられながら、子ども・保護者・大人がともに育ち合う場所を目指しています。



朝倉での暮らしを覗き見！ 1日のスケジュール



《ある平日》

- 5:30 起床
家族全員、自覚まじなし
朝食準備など家事を協力して、
8:00には全員家を出ます
- 8:30 開園
「今日はどこ行く？」
- 16:30 閉園
帰宅後は、子どもたちと
お風呂に入ったり、宿題を見たり、
夕食を作ったり
- 18:00 夕食
家族団らんの時間を楽しみます
- 20:00 就寝

《ある休日の過ごし方》

休日も、平日と同じリズムで、「今日何したい？」と家族で話し合って、子どもの希望を取り入れて一日を過ごします。桜や紅葉など秋月がにぎわう季節に、杉の馬場～秋月八幡宮を早朝に散歩するのがとても気持ちいいそうです。



Photo: 大崎家のお気に入り♡
あさくら図書館。品そろえも豊富で、
ゆったりと読めるのが好き。



まとめ

- 水が豊かで四季がはっきりしている
秋月で開いた保育園
- 看護師、3児の母としての経験
- 子どもを一人の人間として尊重し
子どものそのままを見守りたい
- 地域に見守られ、支えられている

かててーて
いーいーよ





世界一の乾杯のまち ASAKURA で「かんぱ〜い！」

朝倉市では、2025年11月22日、「第5回 あさくら祭り」内で、リレーのように次々と乾杯をつなぐ「世界一長い乾杯リレー」のギネス世界記録に挑戦しました。

これまでの世界記録は、2024年に新潟県上越市で達成された1635人。互いにグラスを当てて、「かんぱい！」と発声し、一口飲むことが条件。当日は、2022人が「カッチン」▶「かんぱい！」▶「ごっくん」▶「移動」のリズムで次々と笑顔で乾杯し、見事ギネス世界記録に認定されました。

見事に偉業を達成した「ASAKURA 世界一の乾杯プロジェクトチーム」は、こう振り返ります――。



水の恩恵が豊かで お酒との関わりが深い朝倉の地で

なぜ、朝倉で「乾杯」？朝倉には、アジア最大の敷地面積を誇る麒麟ビール福岡工場や、福岡で唯一のモルトウイスキーを生産する篠崎酒造などがあり、さまざまな種類のお酒がつくられています。また、市制20周年を迎える朝倉市を、人に例えるならば20歳。飲酒ができる節目の年齢です。水の恩恵が豊かで、お酒との関わりが深い朝倉の地で、市の20歳を世界一の乾杯でお祝いするため、この種目でのギネス世界記録挑戦を企画しました。

世界一のゲストとスタッフに 支えられ偉業達成

これまでの記録を超える2000人規模のイベントの進め方や会場づくりには、知恵を出し合いました。参加者全員が一斉に並び乾杯する方法ではなく、参加者が移動して乾杯する独自のアイデアを考案しました。

それから参加申込を開始できたのが9月中旬。イベントまで残り1カ月に迫った時点での申込者数は約700人でした。焦りの気持ちはありましたが、市内外のイベントや小中学校などを周って全力でPRし、イベント前日の申込者数は約1500人にまで増えました。スタッフの全体会議では「世界一



を目指す私たちで、世界一のゲストをお迎えする気持ちで頑張りましょう」と声を掛け合いましたね。

イベント当日は、ボランティアを含め80人のスタッフが集まってくれ、それぞれの持ち場で120%の力を発揮してくれました。約4時間30分かけ、2022人の乾杯をつなぐことができました。サラ忍マンや朝倉幸男さんも会場を盛り上げてくれ、参加の皆さんの協力はもちろん、信頼できるスタッフに恵まれたことが偉業達成の要因だったと思います。

「乾杯のまち 朝倉」が根付くよう

今回のギネス世界記録達成を経験し、朝倉には誰かを応援する風土が根付いていると感じています。世代を超えた地域の絆を感じました。次は、この「世界一」をどう生かしていくか。「乾杯のまち 朝倉」として、皆さんと一緒に朝倉を世界一のまちにしていきたいと思います！



朝倉の逸品

ASAKURA NO IPPIN

こころもからだも満たされる

朝倉の恵みあふれる手作り和定食 [福岡市南区高宮]



Photo: 看板メニューは、A5ランクの九州産黒毛和牛をぜいたくに味わえる「トリュフ香るステーキなひつまぶし」。週替わりの定食も、旬の朝倉野菜を中心に組み立てられ、どれもやさしい味わい。ドリンク類も朝倉のものを取り揃えています。



ゴハンのおみせ ten、

福岡市南区玉川町 6-11
(西鉄高宮駅から徒歩約3分)
火曜日定休
lunch:11:00 ~ 15:00
dinner:17:00 ~ 21:00

Instagram



「こころもからだも満たされる」をコンセプトに、朝倉出身の店主が、朝倉産や九州産の食材で作る心温まる和定食を提供するお店。野菜、お米、しょうゆ、みその多くは朝倉産。器にも小石原焼を選ぶなど、料理から空間まで「朝倉らしさ」が丁寧にちりばめられています。オレンジ色の扉と紺色ののれんが目印。ランチはもちろん、ちよい飲みができる夜営業も人気。店主の人柄と相まった温かい空間で、朝倉の恵みを、街でおいしく、丁寧に伝える一軒です。

朝倉産はのびのびと野性的で、味や香りが濃い



ゴハンのおみせ ten、店主

空閑 直希 さん

Profile

朝倉市出身。大学1年生の時、料理人を目指す。調理学校に進学し、卒業後は東京のフレンチレストランに就職。その後、福岡の「田中田(現:お酒と博多小皿たなかだ)」で5年間経験を積む。2025年2月、朝倉産の食材を活かした和定食のお店「ゴハンのおみせ ten。」を福岡市にオープン。

朝倉の好きなどこ

♡ 美奈宜神社 (林田)



▲獅子舞が有名な地元の神社。近くの駄菓子屋も昭和に浸れて、おすすめです。

朝倉で育ち、料理に出会った原点

僕は朝倉の農家に生まれ、22歳まで地元で育ちました。両親を早くに亡くし、大学1年で祖父も亡くなり、「自分は何をして生きていくのか」を真剣に考えるようになりました。当時、朝倉の pasta 屋さんでアルバイトをしていて、料理に夢中だったので「料理で生きる」と決めて大学を辞め、専門学校へ。小さい頃から自然と台所に立っていたこともあり、この道に進むことは必然だったのかもしれない。

東京で、地元を再発見した瞬間

卒業後は、東京のフレンチレストランで働きました。カッコ良いから(笑)。そこで「10年後に自分の店を持つ」と明確な目標を決めました。実は、調理師だった亡き母も「いつか自分の店を持つ」という夢を持っていたらしく、運命めいたものを感じましたね。

東京での生活は、経済的にも精神的にも厳しいものでしたが、ある日、厨房で「博多万能ねぎ」に再会し、先輩から「朝倉出身なの? いいところの出身だね」と言われたんです。その瞬間、初めて朝倉の魅力に気がきました。朝倉の食材は良い意味で、のびのびと野性的で――。

あの感覚は今も店づくりの中心にあります。

福岡に戻ってからは和食を学ぼうと「田中田」に飛び込みました。そして独立する場所を選んだのが、高宮。女性が多く、丁寧な料理が合う街だと感じました。店名の「ten」は、癒やしの存在である愛猫の名前。和食・フレンチなどジャンルに縛られず、おいしいものを届けたいという思いを込めて「ゴハンのおみせ」と名づけています。

朝倉を伝える料理を、これからも

ten、がオープンして、間もなく1年。試行錯誤を重ねる毎日ですが、今描いている夢が二つあります。一つは、「朝倉といえばコレ!」という名物を作ること。そして、明太子や高菜に並ぶ「福岡の新しいゴハンのおとも」を生み出すこと。どちらもまだ秘密ですが、朝倉をもっと盛り上げるために必ずかたちにしたいと思っています。

自然が豊かで、水が良い朝倉。水が良いから米も酒も器も良く、良い循環が生まれています。僕は朝倉という土地を心から誇りに思っています。朝倉を知っている人も、知らない人も、ぜひ一度うちに食べに来てください。知っている人には懐かしく、知らない人には新しく。朝倉の魅力を感じてもらえたらうれしいです!

誌面では語りきれない魅力を動画で



WE ASAKURA

写真からあふれる朝倉の魅力を感じてください!!

朝倉の好きなところ フォトコンテスト

皆さんのみずみずしい感性で、朝倉の魅力をとらえた「# 朝倉の好きなところ フォトコンテスト」。2025年度は、高校生以下の「U-18の部」と「一般の部」の2部制で、皆さんの朝倉での物語を募集する「My Asakura Story」をテーマに開催しました。朝倉への想いがあふれる132作品のご応募をいただき、誠にありがとうございました！白熱した審査の中から、入賞に選ばれた写真などを紹介します。

※撮影者の情報は2026年1月時点のものです。



U-18の部
特選

『輪』 朝倉高校 1年 伊東ゆうらさん

♡ この日は部活がなくて、先輩に会いに行っただけで少し日が暮れました。先輩が二重の虹があるって私に教えてくれて思わず写真を撮りました。この写真を見るとこの高校に入らなければ先輩と話さずとも、この二重の虹が体育館の丸まった屋根の上にあるのも知らなかったのだろうか、虹と人の輪に不思議な気持ちを抱きます。

● 今この瞬間だけという青春の塊のような写真！目に写る全て、そこに会うまで、どれもが奇跡の連続なんだということ、高校生で気付いた伊東さんはすごい！僕も高校時代、気持ちが最高潮の時に「時間がとまればいいのにな！」と思うことが何回もあったことを思い出させてくれました。

審査委員

朝倉幸男さん

どの作品も朝倉で体験したストーリーがあって、写真の前後も想像でき、胸がギュツとなるものばかりでした！



U-18の部
入選

『はじめて好きになれたスポーツ』

朝倉東高校 3年 あゆかさん

♡ 中学生でバスケをしたが、好きだから入部した訳じゃなかった。親の意見に従ったから。でも、高校二年生でアニメをきっかけに大好きなスポーツに出会えた。引退した

今も大好きで、家でも練習をしている。こんなに好きになれたスポーツは初めてで幸せを感じています。



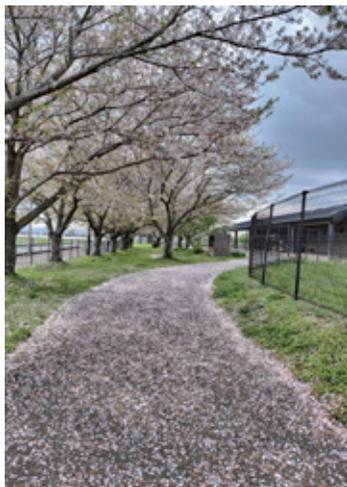
U-18の部
入選

『ながいきしてね』

甘木小学校 1年 ピー太郎さん



♡ おおきな木がこれからもながいきしてほしいです。



U-18の部
入選

『桜のじゅうたん』

甘木中学校 2年 あやかさん

♡ 平塚川添遺跡公園に行ったときに桜が咲いていて落ちた花びらがじゅうたんのようになっていてとてもきれいだったので写真を撮りました。こんなにきれいにじゅうたんのようになっているのを見たのは初めてで上を歩くのが少しもったいなかったです。



一般の部
特選

『成長の喜び』 3M ママさん

♥ 夕日のあたたかさに照らされて、一瞬だけ大人びた表情に。季節とともに成長を感じた夕暮れでした。

● 夕日に照らされたシルエットと視線が、これまでとこれからの成長を物語る一枚でした。朝倉の名所になりつつあるバサロの鯉のぼりとのバランスも綺麗で、朝倉の魅力と個人の時間が重なり合う、まさに「My Asakura story」を感じました。他の作品も、日常の延長にある景色が多くあつて、さまざまな物語をたどることができました。

審査委員
末吉弘聖さん



一般の部
入選

『我が家のペット』 木の精さん

♥ ペットをかうのを諦めていた我が家ですが、窓越しにヤモリが遊びに来てくれました。虫も食べてくれて助かります。毎晩窓に来てくれて、来てくれない日は心配になります。もう我が家のペットです。冬には会えなくなるので、また来年夏に会えるのが楽しみです。



一般の部
入選

『小さな虹見つけた!』 ユウヒさん

♥ 江川ダムが 50 周年を迎え、私自身も 50 歳です。放水に差し込む光が水煙の中で小さな虹を見つけました。その瞬間、時の重なりと自然の美しさを感じました。



一般の部
入選

『朝倉の小さな水中世界』 ヤマジュンさん

♥ 写真の植物はヒメバイカモという清流にしか生息しない水草で福岡県では絶滅危惧 IA 類にされている希少な種です。そのヒメバイカモの水中の花に気泡が付いた一場面を撮影した写真です。あまり普段じっくりと見ることは少ないですが、朝倉市には魅力的な水中世界や豊かな自然が広がっていることも知っていただきたいです。



▲惜しくも入賞ならず、素晴らしい作品多数!
(左)『霧の甘木駅』ハンターさん
(右)『明日の1勝に向かって!』ミカさん

あさ暮らしが選ばれる理由 04選

01 近さがうれしい



朝倉市は、人々の暮らしに潤いを与える、水の恵みあふれるところ。福岡県のほぼ中央部に位置し、市の北東西の三方を山々に囲まれ、南には九州一の大河 筑後川が流れています。福岡都市圏へのアクセスも良く、車で約40分。近くで登山やハイキングも楽しめます。豊かな自然に囲まれているため、新鮮な野菜や果物が簡単に手に入ります。自然、食材、レジャー、人、そして文化——それら全てに近い暮らしができる場所です。

02 のびのび遊んで、すくすく育つ 子育て環境



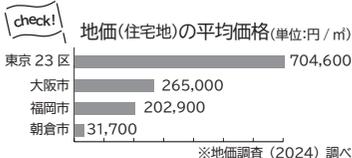
遊んで学べる！体験イベントや「あまぎ水の文化村」など、子どもたちがのびのび成長できる環境が整っています。

- check!** 保育・教育施設の数
- 保育園：15 / 幼稚園：3 / 認定子ども園：3
 - 小学校：11 / 学童保育所：16 / 中学校：6
 - 高校：3 / 専門学校：1
- check!** 安心して子育てができるよう支援
- ・保育園の待機児童はほぼゼロ ※年度途中は発生する場合があります
 - ・就学前の子どもの医療費や小・中学生の入院費を助成、ファミリー・サポート・センターあり、つどいの広場・地域子育て支援センターあり など

03 都会と比べて、広い家に住める



物価、地価、民間賃貸物件の家賃相場など、あらゆる面で都会と比べて安価に暮らすことができます。



04 充実の移住・定住支援



「朝倉来んね〜良いとこよ!」の思いを込めて、移住・定住のための支援制度や相談会が充実しています。2024年4月、朝倉市移住定住交流センター「コンネアサクラ」オープンなどをきっかけに、「朝倉への移住」が注目されています。朝倉市では、移住者交流会を定期的に開催したり、移住者の受入に積極的な移住受入モデル地域もあります。お気軽にご相談ください。

check! あさ暮らしお試し居住ハウス

朝倉市への移住を考えている人に、無料で移住体験ができる住宅「あさ暮らしお試し居住ハウス」を用意しています。予約制で、利用期間は3日間～2週間。滞在中は、希望に応じて、希望場所への案内や先輩移住者との面会、農業体験などオーダーメイド型の移住体験ができます。

check! あさ暮らし移住・定住支援金

朝倉市外から朝倉市へ移住した人に、単身で最大30万円、世帯で最大50万円支援します。年齢要件などがあります。(令和7年度の内容です。令和8年度以降は内容が変わる可能性があります。)



▲詳しくは市HPをご確認ください





これからの注目ニュース！
次号以降で詳しく紹介！

2026年
2月

産学官連携プロジェクト

ガーデンズ千早 (福岡市東区) で サービスエリア 「朝倉 SA」がオープン

九州産業大学、NEXCO 西日本九州支社、高橋株式会社の産学官連携プロジェクト「KSU ちはやサービスエリア (SA)」の第 4 弾として、「朝倉 SA」が 2026.2/8(日)～3/8(日)の期間限定でオープンしました。福岡県内の自治体初の取組です！

「KSU ちはや SA」は、高速道路の SA をイメージした店舗空間で、毎回、特定の地域にフォーカスし、特産品や観光情報を都市部の人々に伝える、地域と福岡都市圏をつなぐプロジェクト。

「朝倉 SA」では、朝倉の食の恵みあふれる農産物や郷土料理、ご当地スイーツなど 100 点以上の商品を取り揃えています。店舗運営やデザインは九州産業大学の学生たちが担当。昨年 12 月に実際に朝倉市を訪れ、朝倉で得た体験をもとに自らの言葉で朝倉の魅力を伝えていきます。

たくさんの皆さんの来場をお待ちしています！



■ぞくぞくと「面白い！」イベントを企画・準備中！

✓ 3/15(日) 移住者交流会 in 杷木松末アウトドアヴィレッジ

▶事前予約制。最近朝倉に移住した皆さんの横のつながり作りを目的に開催します。もちろんこれから朝倉への移住を検討している方も大歓迎です！朝倉での移住生活を思い描くのにピッタリの機会かもしれません！



＼朝倉はもっともっと面白くなります！／



Photo : 2/8(日)の「朝倉 SA」オープニングイベントでは、朝倉市長はじめ関係機関や学生の皆さんによりテープカットを行いました

皆さまのご感想をお寄せください！

朝倉市シティプロモーションマガジン「コンネアサクラ」はいかがでしたか？
下記二次元コードから、簡単なアンケートにご回答ください。今後の企画に役立ててまいります。

抽選によりプレゼントが当たります！
当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。



プレゼント

「朝倉 SA」お楽しみセット
※朝倉の食の恵みあふれる農産物や郷土料理、ご当地スイーツなど

応募期限

2026.
3/29(日)

キーワード

プロジェクト
秋月

編集後記

Interviewer

今回は、私の住んでいる秋月の特集。便利な市街地から車で10分の距離に、こんなにも水がきれい自然豊かなところが……！秋月で生活できることに幸せを感じています。空き家を空き家のままにせず、新しい方に地域の活力になってもらうことに貢献できればと思い、不動産業を開業しました。今住んでいる方と新しく来る方の橋渡しができる存在になれたらいいなと思います。

Creative Director

この数年、シティプロモーションを推進する中でたくさんの人と出会い「朝倉って本当にいいところですね」と言っていたり機会も増えました。いろんなところで朝倉市の話題を見聞きするようになったと、目に見える形で変化していることを褒めていただけることもあります。一気にバズらせる爆発力ではなく、じわじわと素朴な魅力を伝えていく確かと、人との関わりに手応えを感じています。

Editor

春から小学生になるマイペースな息子と、2歳差のおませな娘がいる。もしかててに通っていたら、まったく違った力が伸びたかもしれない。かてて取材の日は、たまたま節分。古処山から下りてきた鬼を全力で退治するかてて流の節分に、圧倒された。大崎さんの言葉一つ一つに、ひとりの親として感銘を受けた。特製の恵方巻も美味しかった。以来、我が子たちにも、かてての理念がちよっぴり加わった気がする。

Asakura City Promotion Magazine

コンネアサクラ vol.5

コンネアサクラ

朝倉市シティプロモーションマガジン
2026年2月発行

[制作]

朝倉市シティプロモーション課
(朝倉市移住定住交流センター コンネアサクラ)
〒838-0068
福岡県朝倉市甘木 1315-1

[協力]

株式会社スタジオナナ (朝倉市応援サポーター)
K-Works 末吉弘聖
KEZZA 株式会社 / アキアーキテツ
月の峠 / 保育園かてて
ゴハンのおみせ ten、(朝倉市応援サポーター)
アサクラクリエイターズラボ

[Special thanks]

取材・制作に協力いただいたすべての皆さん

[印刷]

株式会社四ヶ所



「コンネアサクラ」は
電子ブック版で
読むこともできます



朝倉市シティプロモーションマガジン コンネアサクラ



朝倉市の情報を
各 SNS でも
配信中です



株式会社『田舎暮らしの本』 **住みたい田舎ベストランキング** (2026年版)

2年連続! 北部九州エリア 総合部門 **第3位** にランクイン!



[Information]



『田舎暮らしの本』の恒例特集「住みたい田舎ベストランキング」(2026年版)が2026年2月号にて発表されました。今年で14回目となるこのランキングには、全国547市町村が参加。移住支援や子育て、自然環境など336項目から、部門別にランキング形式で紹介される企画です。

[Photo]

朝倉市移住定住交流センター「コンネアサクラ」前にて、朝倉愛があふれる移住者の皆さんたちと喜びを分かち合いました。若い移住者も増えています。



[Map]



①秋月地区

(アキアーキテツ / 古処山 / 月の峠 / 秋月八幡宮 / 垂裕神社 / 腹切岩 / 保育園かてて) (P1-4)

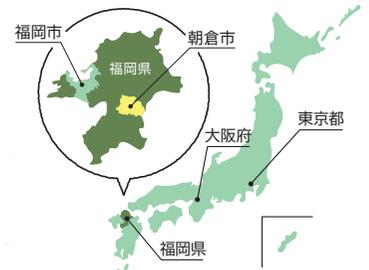
②あさくら図書館 (P3-4)

③美奈宜神社 (林田) (P6)

④平塚川添遺跡公園 ⑤道の駅原鶴ファームステーションバサロ

⑥江川ダム (P7-8)

⑦コンネアサクラ



[Access]

福岡空港	車	約40分
博多駅 博多バスターミナル	JR 鹿児島本線	約35分
	基山駅	甘木鉄道
西鉄天神駅 天神バスターミナル	車	約40分 (高速道路利用) or 高速バス
	西鉄バス	約60分
西鉄天神大牟田線	西鉄天神大牟田線	約20分
	朝倉街道駅	西鉄バス
西鉄天神大牟田線	西鉄天神大牟田線	約30分
	小郡駅	甘木鉄道
	車	約40分 (高速道路利用) or 高速バス
	高速バス	約50分